

# 経皮的動脈弁留置術における左室ワイヤを用いたペーシングについての検討

## 1. 研究の対象

当院で2017年12月1日～2020年11月30日に経皮的動脈弁留置術を施行された方

## 2. 研究目的・方法

近年、大動脈弁狭窄症に対する治療において、開胸による大動脈弁置換術よりも侵襲が少ない経皮的動脈弁留置術(TAVI)の施行件数は増加傾向にあります。TAVI治療では正確に人工心臓弁を留置するために、Rapid pacing（脈拍数を増加させる手技）を行っており、多くの施設では内頸静脈や大腿静脈から一時的ペーシングを挿入し、右室ペーシングが行われています。

しかし、近年、人工心臓弁を持ち込む際に使用する左室ワイヤを利用した左室ペーシングを安全に行うことが可能であると報告されており、当院では左室ペーシングを積極的に行っています。左室ペーシングでは、内頸静脈や大腿静脈の穿刺を避けることができ、また、静脈穿刺に伴う合併症や一時的ペーシングによる心穿孔などの合併症を減少させることができます。

今回、当院における左室ペーシングの成功率や合併症、ワイヤ毎のペーシング閾値を調べることで、TAVIにおけるペーシングやワイヤの選択に影響を与える可能性があり、今後の治療に役立てることができると考えています。

この研究では、通常の診療の範囲で得られた情報を用いて、調査や分析を行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者特性（背景、既往歴）、術前の血液検査の結果、術前の経胸壁心臓超音波検査の所見、TAVIに施行した人工心臓弁、TAVIに使用した左室ワイヤ、左室ワイヤに伴う合併症、手術時間、術中の透視時間など。

この研究のために追加の検査等はありません。

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、診療情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および 研究への利用を拒否する場合の 連絡先	済生会熊本病院 循環器内科 研究責任者 鈴山寛人 (住所) 熊本市南区近見5丁目3番1号 (電話番号) 096-351-8000 (病院代表)
---------------------------------	---